

コープきんき

発行/2009年11月10日・通巻34号
生活協同組合連合会
コープきんき事業連合
〒532-0011
大阪市淀川区西中島5丁目
13番9号 新大阪MTビル1号館
TEL06-6838-4556

発行責任者/元木 勲
発行事務局/理事会室
e-mail: info@kinki.coop

コープきんき事業連合は、コープしが・京都生協・ならコープ・よどがわ市民生協・パルコープ・いずみ市民生協・わかやま市民生協の近畿7生協を会員とする生活協同組合連合会です。

コープきんき虹の会が設立され、活動がスタートしています

コープきんき虹の会設立総会が開催されました



2009年7月21日(火)コープきんき虹の会設立総会が開催され、当日は、442のお取引先とコープきんき役員合わせて796名が参加しました。総会では、会則・09年度事業計画・役員を確認しました。

会長	日本ハム(株)	小林社長
副会長	日本水産(株)	細見専務
//	J A全農	秋田常務
会計	加藤産業(株)	浅沼専務
//	(株)クラブコスメックス	高井常務
監査	(株)菱食	福原専務
監査	(株)ニチレイフーズ	相馬社長

食品部会が開催されました

2009年10月6日(火)60社・91名の参加で食品部会が開催されました。食品部会・部会長の国分(株)園分見専務取締役の挨拶の後、コープきんきから「上期到達点と課題」、「無店舗事業、店舗事業、インターネット事業の概況」の報告をおこないました。「ほんまものサービスはこれや」と題して、(株)日本旅行 西日本営業本部チーフマネージャーの平田進也氏に講演をしていただき、お客様対応について学びました。

(2009年10月30日現在)

水産部会	2009年11月6日(金)
日記・冷食部会	2009年11月13日(金)
サービス部会	2009年11月17日(火)
農産・米部会	2009年11月26日(木)～27日(金)
非食品部会	2010年3月2日(火)

引き続き、各部会が開催されます



部長挨拶



講演会

「コープきんき虹の会」全体研修会を開催します

お取引先とコープきんきの連携した品質管理の向上をめざして設立された「コープきんき虹の会」では、2010年2月25日(木)に日本生協連品質保証部から講師をお招きして全体研修会を開催する準備をすすめています。

CONTENTS

- コープきんき虹の会が設立され、活動がスタート p1
- 「09年度第2回組合員理事懇談会」開催 p2
- 「第18回商品開発組合員懇談会」開催
「北海道産地交流会」開催 p3
- 「くらしのパートナー組合員懇談会」のとりくみ
「トイレットペーパー工場見学会」 p4
「ミズノプレスサーモ商品学習会」 p5

- 店舗事業委員会「コープさっぽろ研修会」開催 p5
- 2009年度上期の到達
無店舗 食品事業/非食品事業 p6
インターネット事業/店舗事業/品質保証 p7
- 2009年度上半期 共同開発商品のとりくみ
組合員の声から生まれた商品紹介
会議報告 p8

09年度上半期 共同開発商品のとりくみ

【1】09年度上半期共同開発商品の取り組み

09年度上半期の共同開発商品の実績は183.6億円で、前年比98.0%でした。エリア共同開発商品部門別では農産(111.3%)、冷食(101.4%)、米(109.4%)、パン菓子(103.3%)、非食品(102.8%)などが前年より伸長しています。

【用語解説】

エリア共同開発商品…日生協とコープきんき事業連合が共同して開発した日生協コープ商品。
ネットワーク商品…各地域のエリア共同開発商品をお互いに共有しあうもの。
全国共同開発商品…日生協とその会員生協が共同して開発した日生協コープ商品のうち、全国レベルで共同開発したもの。

7会員の仕入金額

単位：千円

	実績	前年実績	前年比
エリア共同開発商品	12,350,983	12,798,178	96.5%
ネットワーク商品	368,817	448,330	82.3%
全国共同開発商品	5,644,003	5,493,090	102.7%
合計	18,363,803	18,739,598	98.0%

注) エリア共同開発商品から全国共同開発に移行した商品があります。

7会員のエリア共同開発商品(部門別仕入金額) 単位：千円

部門名	実績	前年実績	前年比
農産	670,511	602,258	111.3%
水産	1,621,340	1,702,570	95.2%
畜産	817,926	1,222,191	66.9%
日記	2,512,356	2,653,220	94.7%
冷凍食品	1,017,539	1,003,776	101.4%
牛乳	886,792	889,235	99.7%
米	2,057,890	1,881,201	109.4%
加工食品	1,166,350	1,266,575	92.1%
パン菓子	913,364	884,245	103.3%
飲料	267,489	284,919	93.9%
非食品	419,426	407,989	102.8%
合計	12,350,983	12,798,178	96.5%

組合員の声から生まれた商品紹介

生協オリジナルはぶらし ティアプル

組合員アンケートで「歯の黄ばみ」に悩む組合員さんが多かったことから、効率よく歯がみがける植毛に歯とハグキの間もみがける先細毛を加えたコンパクトヘッドのはぶらしを開発しました。

高密度の植毛に、超先細・ザラザラ加工を施しました。歯の表面の汚れが落としやすく、かつ、毛の先端が歯のすき間に入り込んで歯石を絡め取ることができます。

2回にわたるモニターアンケートを経て、今年の3月に完成。4月には組合員さんの工場見学も行われました。



ふんわり布ナプキン 「昼用」「夜用」 「ライナー」



「環境問題のことを考えると使い捨てナプキンは生協らしい商品ではない」「布ナプキンはネット通販でしか取り扱いがなく不便。生協で扱って」と取扱いを望まれる組合員さんの声が増えてきたことから、お取引先のトップ産業の社内女性モニターの協力もいただき、組合員さんの声を取り入れた布ナプキンの開発を「くらしのパートナー組合員懇談会」のメンバーでとりくみました。

試作を繰り返し、たくさんの女性の想いが込められ、完成した布ナプキンです。

下着感覚で使うやわらか布ナプキンで、生理時の肌のかぶれやムレのしんどさを解消します。また、かわいい小花柄で、憂うつな日の気分を明るくします。

ゴミも減らせて、環境にも配慮しています。



エビス(株)はぶらし工場を見学した組合員さん

会議報告

第7期第3回 理事会

10月28日(水)
午後2時30分～
5時20分

<報告・承認事項>

1. 上半期事業のまとめ
 - ①無店舗事業・商品事業
 - ②インターネット事業
 - ③店舗事業
 - ④決算報告
2. 商品トラブル対応報告
3. 諸報告
 - ①8～10月専務理事会議報告
 - ②8～10月事業連帯政策会議の報告
 - ③組合員会議関連

4. 10年度方針・事業計画の策定に向けて
5. コープきんきの今後のガバナンスについて
6. コープきんき無店舗食品発注システム構築の投資について

<議決事項>

1. 役員選任規約及び役員人事小委員会規則の改定の件
2. 第7期役員関係小委員会の委員の選任の件

<監事報告>

1. 2009年度監査方針及び監査計画

「09年度 第2回組合員理事懇談会」を開催しました。



10月15日、チサンホテル新大阪において「09年度第2回組合員理事懇談会」を開催しました。

元木理事長から、開会のあいさつと併せて、上半期の流通業界の状況、コープきんき・会員生協の上半期の経営状況、政治・経済の動向、コープきんきでの商品政策の検討状況、09年度までの到達点と10年度活動の基調、日本生協連でのコープ商品政策の見直しや共同開発の枠組み検討をふまえた対応のあり方について報告がありました。

上田常務理事から、「09年度上半期の事業到達と第3四半期対策」、「組合員の声の実現と商品開発・改善のとりくみ」について報告し、ご意見をいただきました。

○いただいたご意見

「09年度上半期の事業到達と第3四半期対策」、「組合員の声の実現と商品開発・改善のとりくみ」について

・コープきんき虹の会が発足しましたが、取引先とは緊張感を持った関係を築いてほしいと思います。虹の会の活動内容について、組合員にも知らせてほしい。

・有機栽培で海外のキウイや竹の子を扱っていますが、組合員には現地が見えません。海外の有機栽培を扱う意義をきちんと伝えてほしい。

・花王のエコナについては、「生協が危険性のあるものを扱っていた」と思ってしまった人もいます。取扱いの考え方をきちんと示し、学習の場を持つことも必要だと思います。

・「くらし応援」での低価格のとりくみには期待していますが、メーカーや生産者に無理を強いていけないでしょうか。値下げのできる理由をわかりやすく説明することが必要だと思います。

・政権交代でCO₂の2015年25%削減目標が示されました。カーボンフットプリントを



始める量販もあります。環境問題では生協には先を行ってほしい。
商品案内カタログの整理を考えてほしい。種類が多すぎて全部見ることができません。
・「単協ですること」と「きんきですること」とがあります。きんきでは、よい商品を作り、きちんと管理してほしい。コープ商品の値打ちについて、もっと情報提供してほしい。



講演

「世界の水産資源を取り巻く状況について」をテーマに、日本水産株式会社 海洋事業推進室室長 原田厚様よりご講演をいただき、質疑と意見交換をおこないました。



「第18回商品開発組合員懇談会」が開催されました

10月22日、おおさかパルコープ本部にて「第18回商品開発組合員懇談会」が開催されました。

全体会では、09年度上半期のきんき会員生協の供給状況、この間の特徴的な取り組みと09年度下期課題の基調、上半期の共同事業の到達と下期の課題について報告がありました。

特別報告として、北海道産地交流会の参加者から報告をいただき、産地・生産者の努力や想いに共感の声が寄せられました。

きんき共同開発商品、迎春商品、日生協の新品目など64品目の展示試食を行い、メーカーとの交流を深め、分散会では「茶わんむし」の共同開発、「漬けうおの焼き魚」の生協オリジナル開発をテーマに意見交流しました。



全体会の様子



おせち料理も確かめました。



北海道産地交流会報告



コープきんきが買い付けした秋鮭

トピックス

「北海道産地交流会」が行われました。

9月3日(木)から5日(土)の3日間、いずみ・よどがわ・しがわかやまの4生協5名、関西共同開発室1名、コープきんき2名の合計8名で「北海道産小粒納豆」「北海道ななつぼし」の産地を訪問し、生産者の方々と交流をおこないました。

「JA北いぶき」

「北海道の小粒納豆」の原料大豆産地

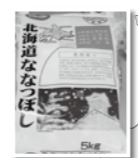


北海道産の小粒納豆

納豆の原料は小さく愛らしい「スズマル」という北海道にしかない品種です。JA北いぶきでは、いづどんな農業・肥料をどれだけ使ったか、栽培履歴の記載・データベース管理をしていました。JAでの集荷以降は全量がロット番号でトレース管理され、1等級のみを納豆の原料としています。

「JAきたそらち」

北海道ななつぼしの産地



北海道ななつぼし

「ななつぼし」の7割近い生産量を占めるメイン産地「JAきたそらち」を訪問しました。
お米の保管施設では、受入れから出荷までの履歴管理をコンピューターで行い、サイロ別に、生産者、荷受日、品種、たんぱく値、水分値を管理しています。



大豆生産者の宮岸さん

参加者の感想

- おいしくて安全で品質のよい大豆を届けたいという想いがJAの職員の方、生産者の皆様からひしひしと伝わってきました。「大豆のトレースを全国でここまで丁寧に取り組んでいるのはうちだけ、自信があります」の言葉に深く感激しました。
- 生産者と農協が一体となって米作りに情熱を持って取り組み、常に利用する消費者(組合員)のことや環境に配慮して米作りが行われていると感じました。
- 生産の現場を訪れて、目で見て生産者と交流することでお互いに顔が見え、信頼が築けることを確信しました。

「トイレットペーパー工場見学会」が行われました

「くらしのパートナー組合員懇談会」のとりぐみ

7月31日(土)、大阪府泉南市にある(株)リバース本社工場で「CO・OPTトイレットペーパー工場見学会」が行われました。コープのトイレットペーパーは、組合員さんから回収された牛乳パックを原料の一部に使用しています。組合員さんとお取引先・関係者の総勢42名が参加。コープのトイレットペーパーを知るをテーマに工場を見学、リサイクルの現状を学習し環境への意識を改めて強くしました。

(株)リバースの上野さんから工場の説明

製紙工場では大量の水を使い排水しますが、バクテリア処理により瀬戸内海における排水の規準値を大幅に下回る水に戻して排水しています。また、原料処理の段階で発生する廃プラスチック等は固形燃料にリサイクルするなど「ゴミを出さない工場」を目指しています。



トイレットペーパーの生産工程を見学

まず、持参した牛乳パックをシヨベルカーに投入。その後、原料がトイレットペーパーに加工されるまでの工程を見学・学習しました。写真は、でき上がったばかりのロール。子どもたちはあまりの大きさにびっくり!



おさらいクイズとトイレットペーパー巻き解き体験
工場で見えたことやお話しただいたことからクイズを出題。家族対抗形式で、親子でいっしょに考えてもらいました。



参加者の感想

- すべてがリサイクルでき、とても経済的なことがわかりました。トイレットペーパーがない生活は考えられないので、これだけリサイクルされていることに本当に感心しました。
- 刃物で牛乳パックや切符を切って、トイレットペーパーを作るのが不思議でした。

大人の感想

子どもの感想

店舗事業委員会「コープさっぽろ研修会」を開催

9月17日(木)～18日(金)、店舗事業委員会・店舗研修会を北海道札幌市で開催しました。研修では、コープさっぽろ本部でのレクチャーを中心に店舗視察(コープさっぽろ4店舗、競争店6店舗)を行いました。北海道ではアークスグループを中心に価格競争が激化しており、その中でコープさっぽろがどのように組合員の支持を高めようとしているか、「おいしいお店づくり」の進化、全ての分野で競合店との相对比较の「見える化」などを推進するさまざまな取り組みについて学習しました。



コープさっぽろ本部での研修の様子



コープさっぽろにしの店



コープさっぽろにしの店 農産平台

「くらしのパートナー組合員懇談会」のとりぐみ

「ミズノブレスサーモ商品学習会」を開催

7月9日(木)、大阪市住之江区のミズノ(株)本社において「ミズノブレスサーモ商品学習会」が開催され、27名の組合員さんとお取引先、職員の32名が参加しました。学習会では、ブレスサーモの開発経過とこの間の生協の普及のとりぐみについて報告が行われました。また、ブレスサーモの5つの特徴(発熱・吸湿・消臭・PHコントロール・静電気抑制)について、実験を交えながら説明を受けました。組合員さんが自ら効果を体感することで、ブレスサーモの特徴について理解を深めました。



原綿による発熱実験→



お酢を使った消臭実験



実際にブレスサーモを着用し、人工気候室で11月上旬の季節を体験

参加者の感想

- 他社比較の差、性能的にはブレスサーモがすぐれていること、実際に試着して効果を実感できました。
- 冬用で単純にあたたかいただけかと思っていましたが、吸湿・吸汗などの性能もあることを知り、びっくりしました。
- 実際に体感するという事は、すばらしいことだと思いました。実験は大変感動しました。

09年度上期の到達

無店舗 食品事業

**供給高・荒利益高とも
前年より伸長しました。**

2009年度上半期の供給高は809億8542万円(予算比99.4%、前年比101.8%)、荒利益高は225億2378万円(予算比99.9%、前年比101.4%)、世帯利用高は4327円(予算比99.3%、前年比98.2%)となりました。

世帯利用高の前年比は第1四半期99.1%、第2四半期97.4%と低下傾向にあります。9月度は前年比96.9%となっています。利用人数は前年より伸長していますが、世帯利用高の低下により、7月度・9月度の供給高は前年を下回りました。

引き続き、「くらし応援宣言」、EDLPの継続・強化、低価格商品の拡大など、価格値下げ商品の追加を中心に、「くらし応援」のプロモーションを強化します。



<2009年度上半期 無店舗食品事業>

	酒・飲料		ドライ・冷蔵		生鮮Ⅰ (水産・畜加工品・日配)		生鮮Ⅱ (農産・精肉・米・牛乳・卵)	
	計画比	前年比	計画比	前年比	計画比	前年比	計画比	前年比
供給高	96.9%	99.2%	101.0%	103.7%	99.2%	101.4%	98.5%	100.9%
荒利益高	96.6%	98.5%	101.3%	103.0%	99.4%	100.9%	99.4%	100.6%
世帯利用高	96.8%	95.7%	100.9%	100.0%	99.1%	97.8%	98.5%	97.4%

注) 数値はコープきんき7生協の合計です。

無店舗 非食品事業

利用人数が大きく伸長しました

2009年度上半期の供給高は148億1387万円(予算比99.8%、前年比101.2%)、荒利益高52億2381万円(予算比97.7%、前年比99.3%)となりました。5月度、8月度、9月度は供給高・荒利益高とも予算を達成しました。

日用消耗品の売場の拡大と「くらし応援宣言」商品の打ち出し、さらにインフルエンザ対策企画の実施で、利用人数は前年比108.5%と大きく伸長しました。インフルエンザ対策企画では、組合員のご注文に応えることが出来ず、ご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

下期以降も、「期間値下げ」「年間値下げ」「年間最安値」など「くらし応援」の継続と強化を図ります。利用しやすい売場づくり、商品分類ごとの重点の設定、ふだんのくらしに役立つ品揃えと価格を実現し、利用を高めていきます。



<2009年度上半期 無店舗非食品事業>

	日用消耗品		家庭用品		化粧品・衛生用品他		趣味娯楽・身の回り	
	計画比	前年比	計画比	前年比	計画比	前年比	計画比	前年比
供給高	99.8%	105.5%	94.3%	95.1%	101.0%	109.7%	102.5%	95.6%
荒利益高	98.7%	104.3%	91.9%	93.8%	99.2%	108.7%	100.3%	94.2%

注) 数値はコープきんき7生協+コープ北陸の合計です。

インターネット事業

**eフレンズ利用が
広がっています**



2009年上半期のeフレンズ登録会員は23万6622名、前年比118.7%となりました。登録率は26.2%になりました。

eフレンズ会員限定企画では、7月から非食品の宅配企画を開始しました。9月度のeフレンズ会員拡大キャンペーンと連動した9月4回・5回企画では供給高が2000万円を超えました。

共同購入に占めるeフレンズ利用の割合は、上半期では供給高11.0%、利用人数10.1%になり、各々前年より1.5ポイント伸長しています。9月度は供給高11.5%、利用人数は10.4%になっており、eフレンズ利用が広がっています。

eフレンズ会員限定企画の携帯電話対応、限定企画の充実と拡大、画像付のメールマガジン発行、自動注文機能の導入などをすすめています。

2009年上半期 eフレンズ登録会員数の到達

	実績	計画	前年比
会員数	236,622名	255,112名	118.7%

eフレンズ会員限定企画の利用状況(2009年度上半期)

	供給高	回当たり平均供給高
上半期	408,952千円	15,146千円

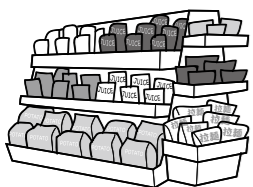
店舗事業

**利用普及と荒利益高の
改善をすすめました**

供給高は51億49百万円となりました。部門別では加工食品38億75百万円(予算比100.6%)、菓子部門12億74百万円(予算比95.9%)となっています。重点となる商品分類を設定し、利用の普及と荒利益高の改善をすすめました。

「くらし応援宣言」は市況価格への機敏な対応をおこなうため月単位に設定しました。上半期は合計2615品目を設定し、引き続き、10月度550品目、11月度573品目、12月度592品目と、500品目を超える設定をおこなひ、くらしを応援します。

レジ袋の共同仕入れ、クリスマス・年末の店内ツールの共同仕入れ、しが・京都・ならの3生協での日配・畜産加工品の共同仕入れの準備など共同のとりくみを



品質保証

**商品苦情対応システムの
運用をスタートしました**



①商品苦情情報の共有化、重大事故につながる可能性のある情報の迅速な把握のため、商品苦情対応システムの運用を開始しました。

②職員の工場点検能力の向上のためにHACCP(ハサップ)研修会を開催しました。会員生協職員を含め、延べ120名が参加し、3ヶ月間の研修会の中で、学習と工場現場での実地研修をおこないました。10月15日には研修会のまとめと報告会をおこないました。

HACCP(ハサップ)とは、食品の原料の受入から製造・出荷までのすべての工程において、危害の発生を防止するための重要ポイントを継続的に監視・記録する衛生管理の手法です。

③商品検査は5388品目8215検体を実施しました。新規商品検査で基準外になった商品については、取り扱いを中止し、流通品検査で基準外になった商品については、原因調査と対策を確認しています。

上半期商品検査の実施状況

検査区分	品目数	検体数	基準外数	
新規商品検査	微生物検査	989	3802	7
	食品添加物検査	300	314	0
	輸入加工食品残留農薬検査	36	36	0
	加工食品アレルゲン検査	60	60	0
	加工食品畜種検査	0	0	0
流通品検査	CO・OP商品微生物検査	1,559	1,559	31
	NB商品微生物検査	2,192	2,192	31
事前検査	中国製品残留農薬検査	118	118	0
	農産物残留農薬検査	134	134	0
	合計	5,388	8,215	69

※商品検査の判定は、自主基準に基づいておこなっています。基準外であっても商品の安全性に問題はありせん。